



岡村病院
院内報

歩 (あゆみ)

第 5 号

発行 岡村病院
編集 歩 (あゆみ)
編集委員会
平成 5 年 12 月 1 日

岡村病院 基本理念

私たちは、患者さん本位を第一に考え
高度な専門医療技術をもって
地域社会に貢献することを目指します。



「浮かぶ布 NO.10」 庄司 達氏 作

チャレンジ3 CHALLENGE・3

1

私たちは、いつも「おもいやり」と
「積極性」をもって患者さんから愛される
病院づくりにチャレンジします！

2

私たちは、高度な医療技術と専門性を
もって、地域社会からより一層信頼される
病院づくりにチャレンジします！

3

私たちは、一人一人が専門家としての自負
と責任をもち、明るく、さわやかで発展的
な病院づくりにチャレンジします！

今月のことば

プロ意識

学校の試験なら、10問のうち1問出来なくても、9問出来たら上の部かも知れない。しかし社会に出て実際の仕事につくと、10回に1回ミスをしていたら、もちろん落第である。ミスは許されない、たとえミスをする事があっても、同じミスを二度とくり返さない、出来ませんでは済まされない、それがプロである。

私共は、自分の担当している仕事についてはプロでなければならないと言われている。10月号の院内報に岡村院長が「90%の哲学」より抜け出て「100%の哲学」をめざす事が、プロフェッショナルの条件である」と書いておられたが、今私共にとって大事な事は各自がプロ意識をもつ事ではないだろうか。

岡村病院、待合室造形

庄 司 達

作品名 浮かぶ布 No.10 (六角 赤) '93
 愛 称 心をこめた凧 (Soulful Kite)
 解 説 新装なった病院の待ち合い空間に浮かぶ造形は6本の角材を六つ又組んで、その両端に大小の黄色くて柔らかい布を張ったものである。6方向からゆるゆるの間隔で交差させた角材たちを吊り上げると、空中でがちっと決まってバランスがとれる。

張られた布たちは空気の色をいっぱい受けて真中へたわもうとする。広がろうとする木とちぢまろうとする布が作る、大小2つの懸垂の曲面である。

地上と大気の間で浮かぶこの黄色い布の構成体の、軽さと重さのあやういバランスは活動する私たちの生命体の本性でもある。

黄色い色の布の理由は赤い色の明析さ、鮮やかさと白い色の微妙さ、柔しさの中間の色としてである。そして、黄色は長い生命の発展の中

から見ると、生命が発する時空の色でもある。
 (1993年11月13日)

作者プロフィール

1939-京都に生まれる
 1964-京都市立美術大学
 彫刻専攻科修了
 1979-第4回名古屋市芸術奨励賞受賞



個 展

1968-「白い布による空間」ギャラリー16 (京都) 以来多数

グループ展

1991-〈SEVEN ARTISTS-今日の日本美術展〉サンタ・モニカ美術館、ポートランド美術館、ルフィーノタマヨ美術館、ニューオルリンズ現代芸術センター・他

コレクション

1981-ベルリブ美術館チューリッヒ (スイス)
 1988-若宮大通公園・彫刻の広場 (名古屋市)
 1990-ザ・ナショナルギャラリー (バンコック)

健康一口メモ

ウォーキング

(歩行)



リハビリテーション科科長 永野 一水

ウォーキングは、心身両面でのリフレッシュ、筋肉や骨の強化、肥満予防に有効であり、特に高齢者やふだん運動不足気味な人に適しています。

I. 運動量と強度について

右表より、60歳代では、110 (脈拍数) 程度の運動 | 最大酸素摂取量の40~60% (中等度の運動) | を一

強度の割合 %V _O ₂ max	感じ方	1分あたりの脈拍数				
		60歳代	50	40	30	20
60%	やや楽である	120	125	130	135	135
50%	楽である	110	110	115	120	125
40%	非常に楽である	100	100	105	110	110

回の運動で10分以上、できれば30分位の運動が望まれます。又、毎日運動するのが理想的です

が最低1週に3回は運動しないと効果的な運動とは言えません。(トレーニング中止後3日で効果は低下し、一週間ではほとんど消失します。)

II. 方 法

歩行の姿勢は胸を張り、視線も低過ぎないように上体を保って、腕が自然に振れるように、足は程よく上げ、つま先にけりの力がかかるようにリズムカルに歩いて下さい。

III. 注 意 点

運動開始、及び終了時には準備運動 (ウォーミングアップ)、整理運動 (クーリングダウン) を十分に行って下さい。ストレッチ体操が望まれます。服装は季節に応じた運動しやすいものを、靴は軽くて底が厚くしっかりとしたものを使用します。最初は1日10分位から始め、翌日疲労が残らない様に、足腰の強い痛み、発熱、頭痛、胸痛、脈の乱れ等々あれば中止して下さい。又、60歳以上の人、糖尿病、高血圧、心疾患のある人は医師のチェックを受けてから始める様にしましょう。

ひろば ちょっと聞いて



一緒にスポーツを 始めませんか！

栄養士 西本 あや

今の季節おいしい物がたくさんあってつい
い食べすぎてしまいませんか？

私の場合、食べすぎと日頃の運動不足がちか、
かなりのカロリーオーバー！何かスポーツでも
始めようかと思うのですが、一人ではなかなか
実行に移せず、体重計にのってはおため息をつく
ことがしばしばあります。

そんな私の悩みがきこえたのか、友達が“テ
ニスしよう”と誘ってくれました。友達とだっ
たら楽しみながら体を動かすことができそうで
ちょっと頑張ってみようかと思えます。又、こ
の冬にはスキーにも挑戦しようかと、今スポー
ツを色々したい気持ちでいっぱいです。



「外来から病棟に 勤務になって」

看護婦 岡本 理絵

私は学生の最後の時から看護婦になって引き
続き整形の外来で約1年ぐらいやってきました。
まだ卒業したばかりで何もわからず整形の看護
婦さんに仕事をおそわりながら一生懸命やって
いました。その整形の仕事もまだ充分ではなかつ
たけど覚えかけてやっとなつて慣れたなつて思いたし
てすぐ、病棟の勤務に決まり、また不安で、
“何をすればえいる？”とかそんなことばかり
考えていました。

病棟は外来と違い患者さんとのコミュニケー
ションも多くあるし、学ぶことがたくさんある
なあと思いました。

外来も病棟も違った仕事がたくさんあります。
これから、私にとって覚
えんといかんことがまだ
まだ、たくさんあるので、
一生懸命がんばって行き
たいと思います。



実習に出て

看護学生 中村美智子

実習がはじまって半年以上がたちました。

はじめて実習に出た時はすごく緊張し、詰所
で申し送りを聞いている際に気分が悪くなり、
トイレに駆け込んだことを思い出します。

岡村HPでお世話になりだし看護する上で、
患者さんと接するのに一番大切なのは、コミュニ
ケーションをはかることだと思ひ、病室に行
き、患者さんを目の前にして「おはようござい
ます。」とまではうまく言えたけど、その後の
言葉が続かず、とまどったことが何度かありま
した。しかし今ではこの岡村HPをはじめ、他
の実習HPにも慣れ、スムーズに声をかけられ
ることができるようになり、また患者さんから
も気軽に声をかけられるようになりました。

一步前進したような気がします。

実習に出だして、今日までいろいろな事を経
験してきました。やはり何事も積み重ねが大事
だということ、コミュニケーションをはかっ
てきたことによって学ぶことができました。

これからも積極的に学び、患者さんから親し
まれるような看護婦になりたいと思ひます。



新しい病院と共に

事務 松本ひとみ

受付事務という仕事について1年が過ぎまし
た。事務の仕事は思っていたよりも大変で、毎
日あつという間に1日が終わってしまいます。

私達の仕事は看護婦さんとは違い、直接医療
には携わっていませんが、病院の顔と言われて
いる程大切な、患者さんへの応対をしています。
日頃常に笑顔と思ひやりを持って、患者さん
に接する様に心掛けてはいるのですが、忙しい時
などは、気が付かないうちに冷たい態度をとっ
てしまっていたり、話を最後まで聞いてあげる
事ができなかつたりして、嫌な思ひをさせてし
まっていたのではないのでしょうか、反省すべき
事が沢山あり、まだまだ半人前ですが、一人
でも多くの人に岡村病院を好きになってもら
える様に、もっともっと努力をし、新しい病
院と共にこれからも頑張りたいです。

＝ 新棟落成 ＝

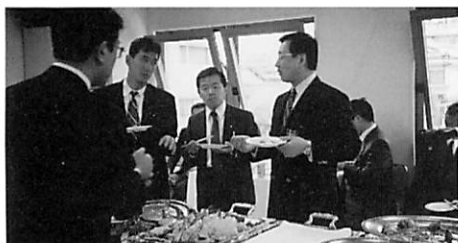
昨年7月より工事中の新棟が10月25日落成、受付をはじめ、病院の主な部分が新棟へ移転し、11月1日より新棟で診療が始められました。旧棟は目下改築工事がなされており、来年2月完成の予定です。

新病院は患者さんに対して病気が早く治る様に、ホテルの雰囲気有する病院づくりを目的として建築されております。色彩では気分が明るくなり、患者さんにとって今までの暗さ、白のイメージをなくして、青、ピンク、グリーンの色彩を基調として作られております。この色彩決定には建築家のみならず、画家の西悟 (Sego) 氏が参加して決定を致しました。

機能面では、十分な断熱材を使用し、寒さ、暑さに対して配慮を行ないました。病院の臭いを払拭する為に、常に外部より25℃に近い新鮮な空気を各部屋に送り込む事で、窓を開けなくても常に換気が行なわれる状態となっております。すべてのベッドサイドには冷蔵庫、全国で初めて本病院の為に開発した液晶テレビを設置し、病院内の四国銀行キャッシュサービスコーナーと共に出来るだけ身軽に入院していただける様にしております。有線放送にて440局の中から選択した音楽が病院全体に流れており、廊下の絨毯とあいまって静かな病院づくりを目指しております。各水栓には給湯設備をすべて有しており、トイレにはウォシュレット等も採用しております。本紙面で十分に説明をつくせない部分がありますが、これらの点につきましては来年2月完成時に設計担当をされたA&A総合計画事務所の阿部所長より御説明される事と考えております。

新棟落成院内祝賀パーティー

新棟落成祝賀院内パーティーが10月30日午後1時より、新棟2階食堂で催されました。



ニューフェイスです。ヨ・ロ・シク!!



土方 雅史さん
事務長
山田高校卒・愛宕病院
香美郡土佐山田町 趣味 バイク



高橋 典子さん
看護婦
県医師会准看護婦養成所・愛宕病院
高知市井口町 趣味 卓球

～ おめでとうございます。～

看護婦の土居桂子さんが10月3日、下村健一さんと、高知会館で結婚式を挙げられました。おめでとうございます。お2人はお見合いで互いに一目惚れし、トントン拍子に結婚が決まりました。御主人はJR四国に勤務されており、とても人望が厚い方です。末永くお幸せに!!

内科の川村誠先生のお宅に、10月22日ご長男誕生、名前は誠一君。体重3,250gでとても元気な赤ちゃんです。お健やかなご成長をお祈りします。

忘年会のお知らせ

恒例の忘年会の季節となりました。たくさんの方々の参加をお待ちしております。

日時 12月10日(金) PM 6:30～
場所 サンライズホテル高知

表紙写真説明 「浮かぶ布 No.10」

本院新棟待ち合い空間に設置された造形、作者の庄司 達氏は日本の立体造形家の第1人者で、「浮かぶ布」は今まで福岡県立美術館、名古屋NHK放送センター空間等に短期的に設置されて来ましたが、恒久的に設置されるのは本院アトリウムが最初です。

－ 編集後記 －

病院の増改築、移転……と慌ただしい中での第5号の発行でした。お忙しいお仕事の中でご協力ありがとうございました。新しい年も、病院の発展・前進と共に「あゆみ」も一層充実し、親しんで頂けますよう、もり立てて下さい。